

SHINKIN REPORT

平成26年4月1日
▼
平成26年9月30日

2014

松本信用金庫 平成26年度(第94期)上半期ディスクロージャー



地域とともに、
人々と明日を目指します。



松本信用金庫
キャラクター「ジョン君」

松本信用金庫

平成26年度上半期トピックス

4月

- 交通安全「黄色いハンカチ」を新入学児童へ進呈
- 「第4回起業セミナー」開催
- 「深海とダイオウイカ展」親子チケットプレゼント・お絵かきキャンペーン開催



5月

- 信寿会ふれあい親睦の旅
「浜名湖花博2014と世界文化遺産富士山を望む焼津黒潮温泉の旅」



6月

- 懸賞付定期預金「ジャンボ19th」発売開始
- 「東日本大震災復興支援特別金利定期預金」発売開始
- 「健康寿命延伸 ファミリーサポート定期積金」発売開始
- 「みらい創造経営塾」開講
- 「信用金庫の日」献血・清掃・募金活動
- 「森林(もり)の里親促進事業(しんきんの森)」もみじの苗木を植樹
- しんきん同友会春季講演会 講師:有森裕子氏 演題「よろこびを力に…」



7月

- 「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト(企業連携事業)講演会
講師:宮川花子氏 演題「愛をみつけた」



8月

- 「松本ぼんぼん」等夏祭りに各店が参加



9月

- 諏訪信用金庫取引先企業との「第2回若手経営者交流会」開催
- 「職域サポートサービス」取扱開始
- 「松本山雅FCスイーツフェスタ」第1次審査会開催



当金庫の概要 (平成26年9月30日現在)

本店所在地	〒390-0873 長野県松本市丸の内1番1号
	TEL 0263-35-0001
設立	大正11年2月
預金	3,725億円
貸出	1,748億円
出資	11億円
常勤役員数	321人
店舗数	28店舗

松本信用金庫のホームページ▶

<http://www.matsumoto-shinkin.jp/>



本上半期ディスクロージャー誌は、森林認証紙及び植物油インキを使用しています。また、印刷時に有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。



本上半期ディスクロージャー誌の印刷・製本工程で使用了電力(100kWh)は自然エネルギーでまかなわれています。

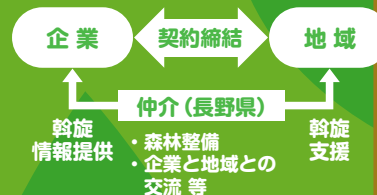
もり 森林の里親促進事業 しんきんの森



長野県が推進する「森林(もり)の里親促進事業」により、平成25年10月松本市岡田財産区との「森林(もり)の里親契約」を締結いたしました。岡田財産区が所有する芥子坊主(けしぼうず)農村公園内約5ヘクタールに、人々の憩いの場となる「しんきんの森」創設を目指し、職員一体となって森林整備に取り組んでおります。今年度は、岡田財産区の方々と共にもみじ150本の植樹、下草刈りや遊歩道の整備を行いました。

●「森林(もり)の里親促進事業」とは…

長野県が仲介役となり、企業と地域が「森林(もり)の里親契約」を結ぶことで連携し、森林整備の促進と、お互いの交流を図る取り組みです。



もみじの植樹



遊歩道の整備



下草刈り



植林予定地の整備

平成26年度上半期の業績ハイライト

平素は、松本信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫の平成26年度上半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日）の業績をまとめました「平成26年度（第94期）上半期ディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧のうえ、当金庫の経営につきまして、より一層のご理解をいただければ幸いです。

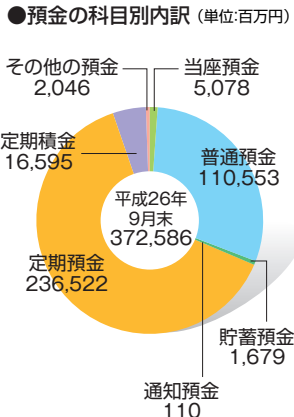
※本資料の記載金額比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
※記載事項については、監査法人の監査を受けておりません。

Q 預金・貸出金の状況はどうでしたか？

A 地域の皆さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていたため、目的や期間に応じた各種商品をご用意しております。また、新商品の企画・開発やサービスの一層の充実に向け努力してまいります。

預金

地域の皆さまの温かいご支援により、法人・個人ともに堅調に推移し、平成26年3月末比89億円の増加となり、総預金残高は3、725億円となりました。



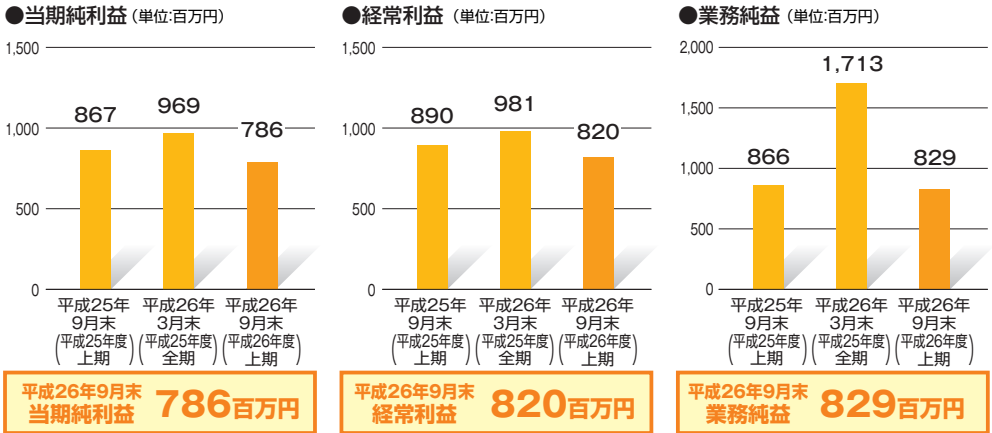
Q 収益の状況はどうでしたか？

A 収益の状況

収益は、業務純益829百万円、経常利益820百万円、当期純利益786百万円となりました。引き続き、安定的な収益と経営基盤の強化に向け取り組んでまいります。



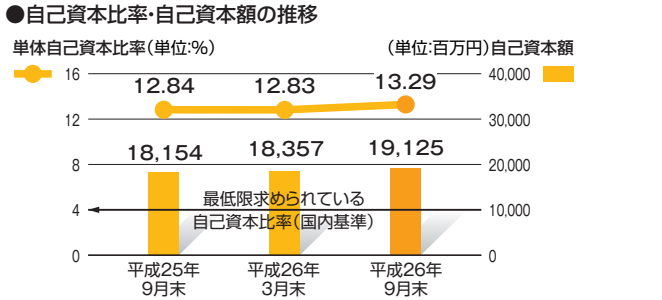
※業務純益……業務粗利益から業務遂行に必要な経費等を控除した利益で、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。
※経常利益……業務純益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示しています。
※当期純利益……経常利益に、特別損益を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。



Q 自己資本比率はどうでしたか？

A 自己資本比率

自己資本比率とは、リスクのある資産（リスク・アセット）に対して自己資本がどれくらいあるかを示す重要な指標です。
平成26年9月末の自己資本比率は13・29%と国内基準（4%以上）を大きく上回っており、経営の健全性・安全性を十分に保っております。
今後とも、皆さまに安心していただけるよう、自己資本比率の向上に努めてまいります。



項目	平成26年3月末	平成26年9月末
①コア資本に係る基礎項目	18,357	19,125
会員勘定の額	17,640	18,424
うち出資金の額	1,111	1,110
うち利益剰余金の額	16,572	17,314
うち外部流出額(△)	44	—
基礎項目に算入される引当金の額	717	700
うち一般貸倒引当金算入額	717	700
②コア資本に係る調整項目	—	—
うち無形固定資産の額	—	65
うち繰延税金資産の額	—	344
③自己資本の額(①-②)	18,357	19,125
④リスク・アセット等の額の合計額	142,993	143,867
自己資本比率 ③/④	12.83%	13.29%

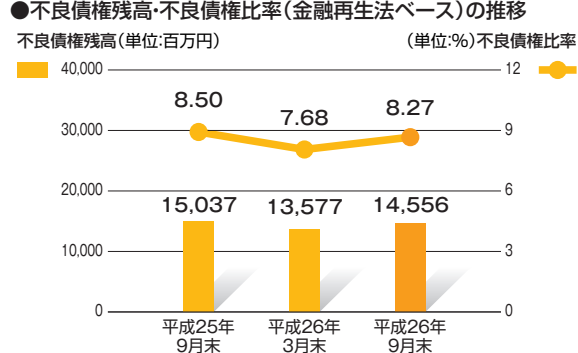
(注)自己資本比率の算出方法を定めた「平成18年金融庁告示第21号」が改正され、平成26年3月末より改正後の告示が適用されております。

Q 不良債権の状況はどうでしたか？

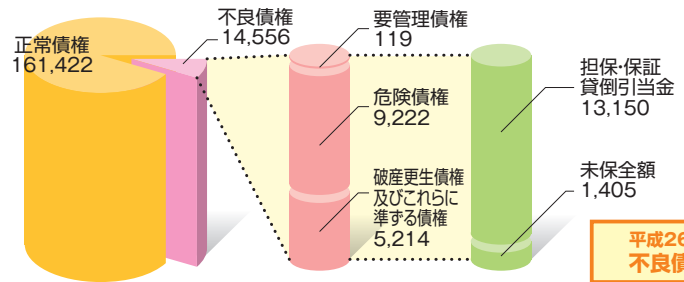
A 金融再生法に基づく不良債権の状況

当金庫では、保有する資産（貸出金など）について、「金融検査マニュアル」に基づいた厳格な自己査定を実施し、その結果に基づいて償却・引当を行い、より健全な資産状況を目指しております。開示金額につきましては、平成26年9月末時点で自己査定を行い、それをもとに債権額を各開示区分へ反映させております。

※不良債権比率Ⅱ(金融再生法上の不良債権÷金融再生法上の開示債権)×100



●金融再生法開示債権保全状況



Q 有価証券の状況はどうでしたか？

A 有価証券の状況

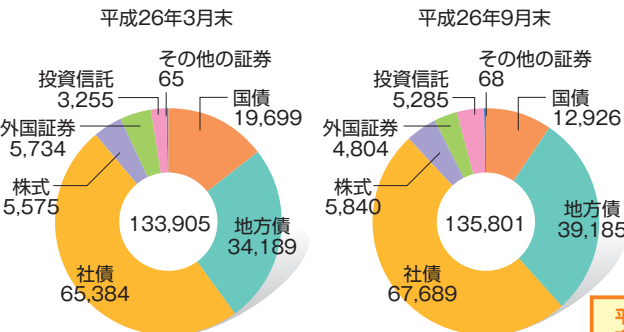
地域の皆さまからお預かりしたご預金はご融資のほか、安全性や収益性に留意して有価証券で有効に運用しております。

●有価証券の状況 (単位:百万円)

		平成26年3月末			平成26年9月末		
		帳簿価格	時価	差額	帳簿価格	時価	差額
その他有価証券	株式債券	4,703	5,575	872	4,684	5,840	1,156
	債券	105,699	107,869	2,169	106,469	109,197	2,727
	その他	6,859	7,290	431	8,133	8,793	659
	合計	117,262	120,735	3,473	119,287	123,830	4,543
満期保有目的有価証券	債券	11,405	11,906	501	10,604	11,024	420
	その他	1,764	1,790	26	1,366	1,427	61
	合計	13,170	13,697	527	11,970	12,452	481

(注)「その他」は、外国証券、投資信託およびその他の証券です。

●有価証券種類残高 (単位:百万円)



平成26年9月末 有価証券残高 1,358億円